

重点事業⑨ 環境教育の促進

1. 概況

世界的な地球温暖化対策や地域における自然環境の保全などの環境問題への対応が重要な課題となる中、学校教育や地域等により、様々な環境教育活動が行なわれています。

学校教育においては、第2期伊勢市教育振興基本計画において、環境教育の推進を位置づけ、各小中学校において特色ある取組を進めています。

市においては、学校や事業者、地域団体等との連携により、各主体が持つ専門性等を活かして、学校への出前講座、環境フェアやエコクッキング教室等の親子参加型のイベントの開催等を行なっています。

また、地域団体等においても、地域の実態等に応じて、子どもたちを対象とした環境改善活動等の実践型の環境学習等が行なわれています。

2. 取組状況

(1) 小中学校における環境教育

小中学校における環境学習時間数は、調査を開始した平成17年度と比較して、約2倍に増加しています。

■環境学習時間数（学級あたりの年間時間数）（単位：h）

指標	H17	…	H22	…	H24	H25	H26	H27	H28
環境学習時間	6.0	…	7.0	…	8.0	—	10.4	12.7	12.5

(2) 市各課における主な取組

・伊勢市環境フェア（環境課）

市主催により、大学や民間企業、各種団体と連携し、自然物を使った工作やクイズ、ゲームなどを通じて環境啓発するイベント。例年、福祉フェスティバルと同時開催。

【H29 来場者数：約 15,000 人】

・皇學館大学との連携事業（環境課）

小学校を対象に、皇學館大学生物学ゼミの学生により、大学における研究活動等の専門性を活用し、昆虫などを用いた出前講座を実施。また、大学と東大淀地区まちづくり協議会が連携した環境学習を実施。

【H29 実績：5校 150人】

- ・民間事業者との連携事業（環境課）

市との環境教育に係る協定（H23 中部電力㈱、H27㈱第三銀行、H28 横浜ゴム㈱）に基づき、小学校を対象に、発電の仕組みを実験で学ぶ環境教育やキッズISO14000、植樹体験などを実施。平成 29 年度においては、三重交通㈱が導入している電気バスを活用した環境学習も開催。

【H29 実績（見込）：5 校 150 人】

- ・伊勢市環境会議（環境課）

幼稚園、保育所を対象にした環境出前講座や、小学校を対象にしたアクリルたわしづくりや水質調査、親子を対象にしたエコクッキング教室などを実施。H29

【H29 実績（見込）：11 園 514 人、1 校 57 人】

- ・農業体験・水産教室（農林水産課）

伊勢農業協同組合、伊勢湾漁業協同組合、事業者、県、地域団体等の協力を得て、市内小学校を対象に農業体験・水産教室（田植え・稲刈り、蓮台寺柿収穫・脱渋体験、青ねぎ定植・収穫、横輪いも収穫、のり工場見学・のりすき体験）を実施。

【H29 実績（見込）：11 校】

（3）地域団体等の主な取組

- ・自然体験活動

地域団体等により、自然観察会、デイキャンプ、エコツアー等の自然体験活動を実施

《具体例》

伊勢志摩国立公園協会主催：自然観察会、エコツアーリズム

伊勢市社会福祉協議会等主催：大仏山デイキャンプ

- ・生物・水質調査、外来生物駆除活動

地域団体や小中学校等による河川の生物調査・水質調査、また、外来生物に関する駆除活動等を実施

《具体例》

伊勢市環境会議主催：水生生物による水質調査

国土交通省主催：水生生物による水質の簡易調査

まちづくり協議会：特定外来生物の勉強会・駆除活動

- ・清掃活動

各地域のまちづくり協議会、宮川流域ルネッサンス協議会などが開催主体となった地域住民による勢田川、五十鈴川、宮川沿岸などの清掃活動等を実施